News Release

株式会社日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency,Ltd.

26-D-0874
2026 年 10 月 26 日

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

三菱自動車工業株式会社（証券コード:7211）

【新規】

長期発行体格付	Ａ－
格付の見通し	安定的

■格付事由

(1) 国内中位の自動車メーカー。日産自動車及び三菱商事の持分法適用関連会社。4WD などオフロード技術で強みを有し、商品構成は SUV、ピックアップトラックが中心。主要市場である ASEAN などで高いブランド力を有する。近年は日産自動車、仏 Renault との協業により開発・販売の強化を進めてきた。販売金融事業は日本に加え 25 年度からフィリピンでも展開している。中長期ビジョン（26～29 年度）ではブランド優位性のある国・地域での販売強化を柱とする成長戦略とコスト競争力強化などの構造改革を推進する方針を示した。

(2) 業績は為替変動、通商政策、環境規制などの影響を受けやすいが、中期的に一定規模の営業利益を確保していけると考えられる。近年、高収益車種へのシフトを進めてきたことに加え、ASEAN などでのブランド優位性とオフロード技術を活用した販売強化、固定費削減の取り組み、日産自動車・仏 Renault 等との協業活用による商品ラインナップ拡充などが業績を下支えすると想定される。財務面では自動車事業はネットキャッシュで財務健全性は維持されており、販売金融の質も健全である。以上を踏まえ、格付を A-とし、見通しを安定的とした。

(3) 26/3 期営業利益は米国関税影響が重荷となり 755 億円（前期比 45.6%減）であったが、27/3 期は 900 億円（同 19.2%増）の計画。中東情勢影響などが懸念されるが、ASEAN・北米を中心に販売台数・車種構成の改善が増益に寄与する想定である。中長期ビジョンで収益目標として 29 年度営業利益 1,600 億円などを掲げているが、中国メーカーとの競合が厳しくなる中、ASEAN での競争力の維持強化が重要となる。

(4) 自動車事業のネットキャッシュは 26/3 期末 4,000 億円強で相応の水準が保たれている。今後はブランド強化、電動化・知能化対応に向けた高水準の投資が計画されているが、キャッシュフロー創出力を踏まえれば、財務内容が大きく悪化する可能性は低く、自動車事業のネットキャッシュ維持も可能と考えられる。

（担当）上村　暁生・小野　正志

■格付対象

発行体：三菱自動車工業株式会社

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. **信用格付を付与した年月日**：2026 年 10 月 21 日
2. **信用格付の付与について代表して責任を有する者**：里川　武
   主任格付アナリスト：上村　暁生
3. **評価の前提・等級基準**：
   評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
4. **信用格付の付与にかかる方法の概要**：
   本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）、「自動車」（2023 年 8 月 1 日）として掲載している。
5. **格付関係者**：
   （発行体・債務者等）　　三菱自動車工業株式会社
6. **本件信用格付の前提・意義・限界**：
   本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
   本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
   本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. **本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者**：
   ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
   ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. **利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要**：
   JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. **格付関係者による関与**：
   本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. **JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置**：なし

■**留意事項**
本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■**NRSRO 登録状況**
JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/en/）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■**本件に関するお問い合わせ先**
情報サービス部　　TEL：03-3544-7013　FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者　金融庁長官（格付）第 1 号
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8　時事通信ビル

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.